

外 科

【外科の特性・特徴】

当院の外科は大きく 5 つに分かれており、消化器外科中心とした外科（74 床、常勤 22 名）、乳腺外科（8 床、6 名）、心臓血管外科（36 床、7 名）、呼吸器外科（22 床、5 名）、小児外科（13 床、4 名）の標榜科があります。さらに外科の中では食道、胃、大腸、肝胆膵の 4 グループに分かれています。令和 3 年度の手術数は外科 1139 件、乳腺外科 759 件、心臓血管外科 695 件、呼吸器外科 364 件、小児外科 295 件で、外科、乳腺外科、呼吸器外科では悪性腫瘍を中心に手術を行っています。それに併せて救急外来を通じた緊急手術も多く、臨床研修指定病院として研修体制も整っており、多数の指導医と後期研修医による屋根瓦方式の研修を行っています。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 外科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 外科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。

広島市立広島市民病院

- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 担当した外科手術患者の術前、手術、術後の一連の流れを理解することができる。
- 9) 症例を要約する習慣を身につけ、術前、術後カンファレンスで概略を発表することができる。
- 10) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 11) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 初日の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 初日に指導医と上級医を割り当てるので、以後は実習期間中、指導医あるいは上級医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 水曜日の術前カンファレンスと金曜日の術後カンファレンスでは既定の時間内で要約を発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

広島市立広島市民病院

5) 原則的には外科（一般、消化器外科）で研修を行うが、研修中呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科での研修も可能である。これらの科を研修する希望があるときには事前に連絡があることが望ましい。

【外科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	学術カンファレンス (外科) オリエンテーション (第1週)	外科	西棟カンファレンス室 西棟 4階	8:00-8:30
火	胃グループカンファレンス 大腸グループカンファレンス 肝胆膵グループカンファレンス	各グループ	東棟 6階カンファレンス室 東棟 6階カンファレンス室 西棟 4階カンファレンス室	17:30-18:30 7:30-8:30 18:30-20:00
水	術前カンファレンス (消化器外科)	外科	西棟カンファレンス室 西棟 4階	7:30-8:30
木	食道グループカンファレンス M&M カンファレンス	食道グループ 外科	東棟 7階カンファレンス室 西棟カンファレンス室	7:30-8:30 17:00-18:00
金	術後カンファレンス (消化器外科・呼吸器 外科・乳腺外科合同)	外科	西棟カンファレンス室 西棟 4階	7:30-8:30

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医・上級医による学生の行動内容の評価	50点
医師以外のスタッフによる学生の行動内容の評価	10点
主任部長による知識、行動評価	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
外科領域の理解度	10点

【実習指導医】

【外科】

塩崎滋弘 (肝胆膵)	特任病院長
松川啓義 (肝胆膵)	副院長

広島市立広島市民病院

井谷史嗣（食道、大腸）	外科上席主任部長
白川靖博（食道）	外科主任部長
中野敢友（大腸、ヘルニア）	手術室主任部長
吉満政義（大腸）	CE センター主任部長
丁田泰宏（胃）	栄養室室長
吉田龍一（肝胆膵）	外科部長
佐藤太祐（肝胆膵）	外科部長
石田道拡（胃）	外科部長
澤田紘幸（大腸）	外科部長
桂佑貴（食道、胃）	外科副部長
真島宏聡（肝胆膵）	外科副部長
吉本匡志（肝胆膵）	外科副部長

【呼吸器外科】

藤原俊哉	呼吸器外科主任部長
牧佑歩	呼吸器外科部長
平野豊	呼吸器外科部長
松原慧	呼吸器外科副部長

【心臓血管外科】

久持邦和	心臓血管外科主任部長
柚木継二	心臓大血管低侵襲治療部主任部長
佐伯宗弘	心臓大血管低侵襲治療部部長
立石篤史	心臓血管外科部長
田村健太郎	心臓血管外科部長
井上知也	心臓血管外科部長
鳥家鉄平	心臓血管外科副部長

【乳腺外科】

伊藤充矢	乳腺外科主任部長
梶原友紀子	乳腺外科副部長
住吉みわ	乳腺外科副部長

【小児外科】

今治玲助	小児外科主任部長
納所洋	小児外科部長